

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公表番号】特表2001-506757(P2001-506757A)
【公表日】平成13年5月22日(2001.5.22)
【出願番号】特願平10-527857
【国際特許分類第7版】

G 0 1 F 23/26

【F I】

G 0 1 F 23/26 A

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月1日(2004.12.1)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年12月1日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第527857号

2. 補正をする者

名 称 アクゾ・ノベル・エヌ・ペー

3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル
(郵便番号 160-0022) 電話(03)3354-8623
(6200) 弁理士 川 口 義 雄



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。



別紙

請求の範囲

1. 液体の表面を感知するための液体センサであって、
液体の表面に触れるためのプローブと、
プローブに結合され、プローブに応答して周波数信号を出力するプローブ発振器と、
プローブ発振器から出力される周波数信号のカウントされたサイクル数の関数としてサイクルカウントを出力するプローブカウンタと、
基準カウントを記憶し出力する基準カウンタと、
プローブカウンタから出力されるサイクルカウントを基準カウンタから出力される基準カウントと比較する比較器と、
事前検出信号に応答して第3カウントを維持し、前記第3カウントが第1所定値を過ぎると、前記液体の表面にプローブが接触したことを示す検出信号を出力する液体検出カウンタと、
所定の時間間隔で、基準カウントがサイクルカウントより小さいことを比較器が示すとき、基準カウンタに記憶された基準カウントを増加させ、液体検出カウンタをリセットし、
基準カウントがサイクルカウントより大きいことを比較器が示すとき、基準カウンタに記憶された基準カウントを減少させ、液体検出カウンタに事前検出信号を出力し、
プローブカウンタ中のサイクルカウントをリセットする制御装置とを備える液体センサ。